

提供日 2014/2/28

タイトル 277g で産まれた赤ちゃんが退院します

担当 県立こども病院

連絡先 こども病院医療サービス課企画サービス係
(こども病院 新生児未熟児科副医長 浅沼)

TEL 054-247-6251



～ともにつくる 信頼と安心の医療～

277g で産まれた赤ちゃんが退院します

(要旨)

静岡県立こども病院で、在胎 26 週 5 日、体重 277g で産まれた赤ちゃんが、この度元気に退院することになりました。出生体重 300g 未満での生存退院は世界的にも非常にまれで、当院では現時点で最小体重です。

検索しうるかぎりでは、世界最小体重は米国での 260g という報告です。なお、国内では出生体重 265g での生存退院の報告があります。

- ・平成 25 年 8 月 : 在胎 26 週 5 日、体重 277g で当院にて出生 (女児)
- ・平成 26 年 2 月 28 日 : 生後 6 か月、体重 2.7kg で退院

(主な治療内容)

- ・妊娠初期から胎児発育が悪いことを指摘されていたが、母体高血圧のために当院へ母体搬送。同日緊急帝王切開で出生。
- ・極めて低体重で出生したため肺が未熟であり、約 2 か月間の人工呼吸管理を要した。現在も酸素吸入が必要な状態であるため、退院後も自宅で継続する。
(酸素吸入は 1 年程度で中止できる見込み。)
- ・生後 12 日目に重症感染症にかかりショック状態となったが、抗生剤治療などで回復した。
- ・今後も慎重な経過観察や発達支援が必要ではあるが、正常発達が見込める状態である。

※患者及びご家族への取材及び写真の提供は、ご家族の意向により一切受け付けておりません。当院医師への取材は可能です。